

財産の戦略デザイン研究会
2025年2月 月例研修

財産の戦略デザインの事例報告

2025年2月27

株式会社継志舎
石脇俊司

今月の月例研修の目的

1. 事例を知ること

お客さまにより課題はさまざまで、その内容は、教科書的な好取組と言い切れるものではないが、そのようなことが、事例のお客さまには必要だったのか！ と感じていただくこと

2. 受講した方が、「行動」しようと思うこと

講師の事例を聞いていただき、「そんなことなら私にも簡単にできる」そう受講者の方々に思っていたいただき、行動に移していただけること

戦略は、目的達成のための資源利用の指針

音部大輔

1. 財産の戦略デザインを、お客さまに知っていただく
2. 財産の戦略デザインを提案する
3. 財産の戦略デザインコンサルティング契約を締結
4. 第1回目ミーティング
5. 第2回目ミーティング
6. 第3回目ミーティング
7. 3か月間の無料サポート

1. 経緯

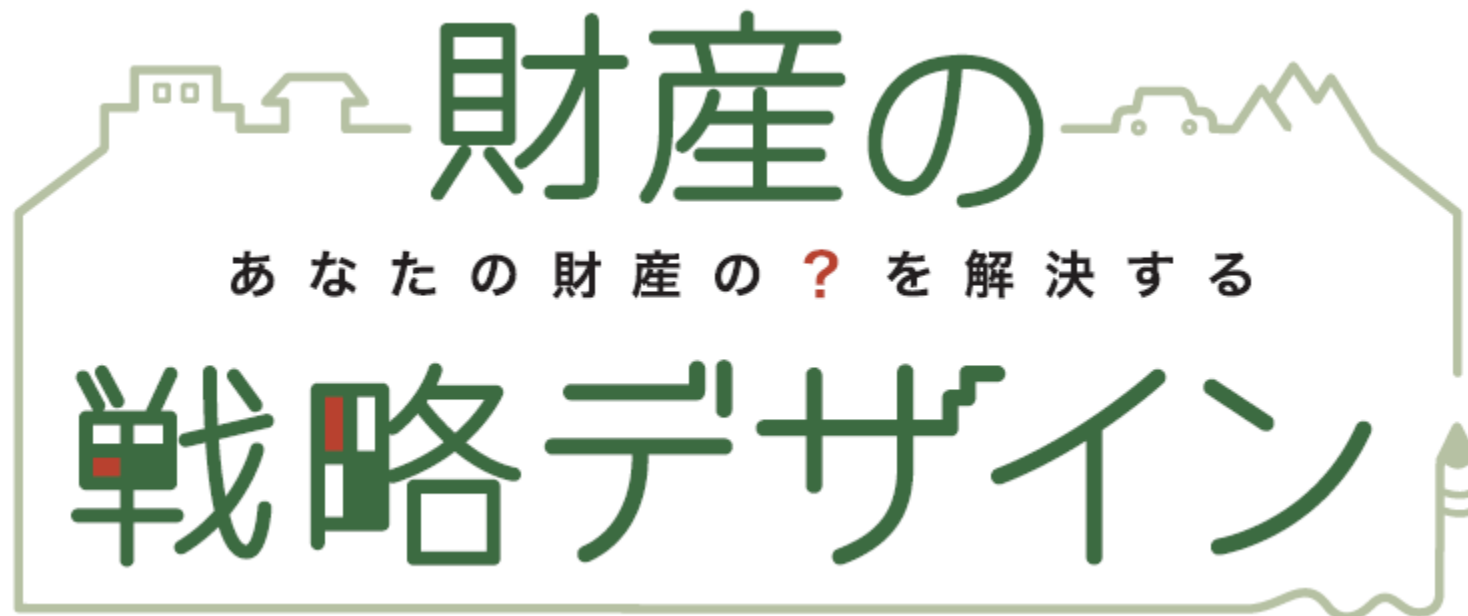
2. お客さまの状況

第1回から第3回までのミーティングで提示する

別紙、

『社長の財産の戦略デザインスケジュールシート』をご覧ください

株式会社 * * * * * 様



株式会社 継志舎

2025年1月24日



財産の戦略デザインは、

あなたの財産に、
安定と富の積み上げをもたらし、
あなたとあなたの家族に、
安心と円満をもたらします。

- 安定** : 変動が少ない。未来に存続しつづける。流動性が確保されている。
- 富の積み上げ** : 根拠をふまえて着実に増えていく。
- 安心** : リスクがコントロールされていて、いつも安心していただける。
- 円満** : おだやかに。家族皆が満ちたりる。



実現したいこと

心配なこと

思い

- ・ 夫婦円満に生活していきたい
- ・ ずっと自宅で過ごしたい
- ・ 財産を確保し不安なく過ごしたい
- ・ 金融商品の利益を得たい
- ・ 贈与をしていきたい
- ・ 後継者に自社株を承継したい
- ・ 後継者に不動産を承継したい
- ・ 退職金を上手に運用
- ・ 株式投資で利益を得たい

- ・ 家族が豊かに過ごせるか
- ・ 子や孫の学費が足りるか
- ・ 残された配偶者が安心して過ごせるか
- ・ 自宅の修繕資金が不足するのでは
- ・ 後継者の経営承継がうまくいくか
- ・ 相続税がかかるのでは
- ・ 事業の承継がうまくいくか不安

事実

個人資産

資産種類		金額(万円)
預金(国内・海外)		1,000
金融商品(国内)	株式	0
	債券	0
	投資信託	2,000
自社株式		6,818
不動産	国内	0
	海外	0
その他	貸付債権	155
	金などのその他資産	0
合計額		9,973

ご家族

		名前	年齢	職業等	
本人		様	75	会社オーナー	
配偶者		子様	75	会社役員	
子	続柄	名前	年齢		
	長女	様	49	子の配偶者	有
				子の子供の人数	2
	次女	様	46	子の配偶者	有
				子の子供の人数	3
	長男	様	42	子の配偶者	有
				子の子供の人数	2

「思い」と「事実」からの課題

- 相続税課税可能性 有
相続人：4名
基礎控除額：5,400万円
- 後継者への事業承継
自社株の承継と事業の承継
事業用資産（不動産）の承継（2次相続）
- 金融資産の運用
- 相続税課税対象額拡大
退職金の支給による

『思い』の整理と分析

実現したいこと

心配なこと



家族との生活

夫婦円満に生活していきたい

ずっと自宅で過ごしたい

財産を確保し不安なく過ごしたい

家族が豊かに過ごせるか

子や孫の学費が足りるか

残された配偶者が安心して過ごせるか

自宅の修繕資金が不足するのでは

仕事

後継者への経営承継がうまくいくか

財産

金融商品の利益を得たい
株式投資で利益を得たい

贈与していきたい

後継者に自社株を承継したい

後継者に不動産を承継したい

退職金を上手に運用

相続税がかかるのでは

事業の承継がうまくいくか不安

趣味・楽しみ

スポーツをする

スポーツを見る

お酒

美術鑑賞

温泉巡り

思いの分析

実現したいこと

- ・【家族との生活】 ご夫婦で楽しく安心してお過ごしになりたい
- ・【財産の承継】 後継者（**様）への自社株と事業用不動産の承継。贈与。金融資産運用
- ・【財産管理】 金融資産。ご不安のない財産の確保

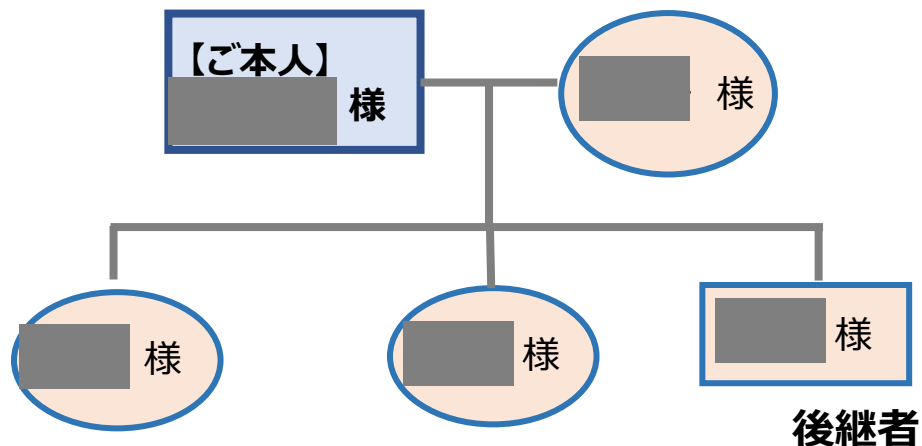
心配なこと

- ・【配偶者・家族】 財産の心配なく安心して過ごしていけるか
- ・【事業承継】 事業承継
- ・【税金】 相続税

『事実』の整理と分析



家系図



- 相続税課税対象資産額：9,973万円
(生命保険非課税枠：2000万円)
- 相続税の総額：250万円
(配偶者税額軽減を最大に利用するものとして)

個人財産の内訳

資産種類		金額 (万円)
預金 (国内・海外)		1,000
金融商品 (国内)	株式	0
	債券	0
	投資信託	2,000
自社株式		6,818
不動産	国内	0
	海外	0
その他	貸付債権	155
	金などのその他資産	0
合計額		9,973

* 自社株式は、準固定性資産

- 流動性資産の比率は30%

個人財産のバランスシート (B/S)



事実の分析

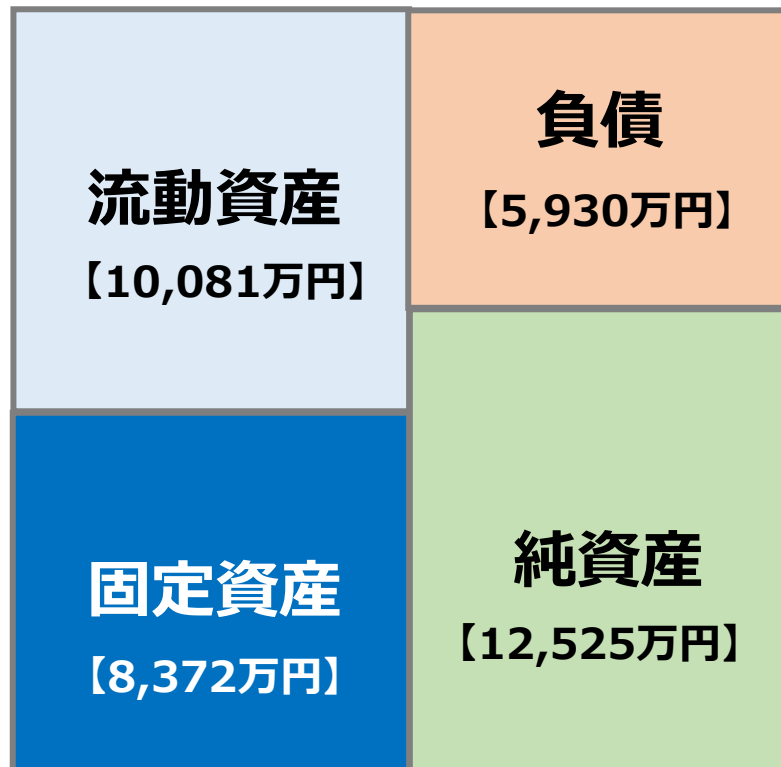
- ① 個人財産は自社株が占める割合が高くなっております。
- ② 現在の財産の価額から、配偶者の税額軽減の制度を利用したときには、相続税は多額とはなりません。将来、退職金を得ると財産額が増えるため、相続税額は増えることが予想されます。
- ③ * * 様にすべての自社株を承継するため、長女様、次女様の遺産分割について検討する必要があります。一方、退職金を得ることで流動資産が増えるため、遺産分割に大きな課題があるとまではいえないと考えます。

『事実』の整理と分析

会社に関する『事実』



会社のB/S



資産合計
18,453万円

負債・純資産合計
18,453万円

会社株主名簿

発行済み株式総数 100 株
1株の評価額(概算) 757,600 円

株主	株数	割合	価額(円)	株主の属性
様	90	90.0%	68,184,000	代表取締役
様	10	10.0%	7,576,000	専務取締役
	100		75,760,000	

種類株式の発行は、無し

定款

- ①公告は官報掲載
- ②株券発行会社（100株）
- ③譲渡制限（取締役会承認）
- ④株主総会
・定時総会
年度末日翌日から3か月以内
・決議
出席した株主の議決権の過半数
- ⑤取締役会・監査役会 設置会社
- ⑥取締役（7名以内）
・任期2年
・3分の1以上の出席で、過半数
- ⑦発起人（7名）

事実の分析

- ① 自己資本比率が非常に高いです【67.88%】
- ② 現・預金比率が高いです【3か月分（売上原価及び販売費一般管理費の）】
- ③ 株券発行会社となっています
- ④ 取締役会設置会社となっています
- ⑤ 相続人等に対する売渡請求ができません（定款の規定なし）
- ⑥ 社長の生命保険の定期保険特約（1,900万円）の保険期間が2025年6月30日まで
- ⑦ 従業員の方の保障と退職金準備の養老保険の契約があります（保障：1,000万円？）
- ⑧ 社長の退職金は、有価証券と現・預金から給付することになると考えます

急に社長に万が一があったとき 【**様の代表取締役就任】

- 1名の取締役を選任する必要
- **様を代表取締役とするには、取締役会の決議が必要
- 社長の株式を**様に速やかに承継
- (会社の流動資産比率は高いので、会社経営に大きく影響することはないと考えられる)

急に社長に万が一があったとき 【社長の財産承継等】

- **様への社長の自社株承継
- 奥様、長女様、次女様への財産承継
自社株の比率が高いので遺留分等もふまえた承継
会社から死亡退職金を支払うことで原資を
- 二次相続もふまえた財産承継
奥様の財産状況より

社長交代のスケジュール

- 共同代表⇒**様が代表に。そのスケジュール
- 取締役の**様への情報共有
情報はどこまで共有するのか

**様に万が一があったとき

- 会社の後継者
- 社長より**様へ移転した自社株の承継先
- 社長の株式の承継先

上記の課題のうち、解決したいとお考えの課題をお選びください



社長の退職金準備

- ・現在の報酬月額（170万円）、在職年数（41年）から、功績倍率を3倍とした場合、約2億1,000万円の支給が可能。
今後の在職予定期間をふまえて資金準備が必要と考えられる

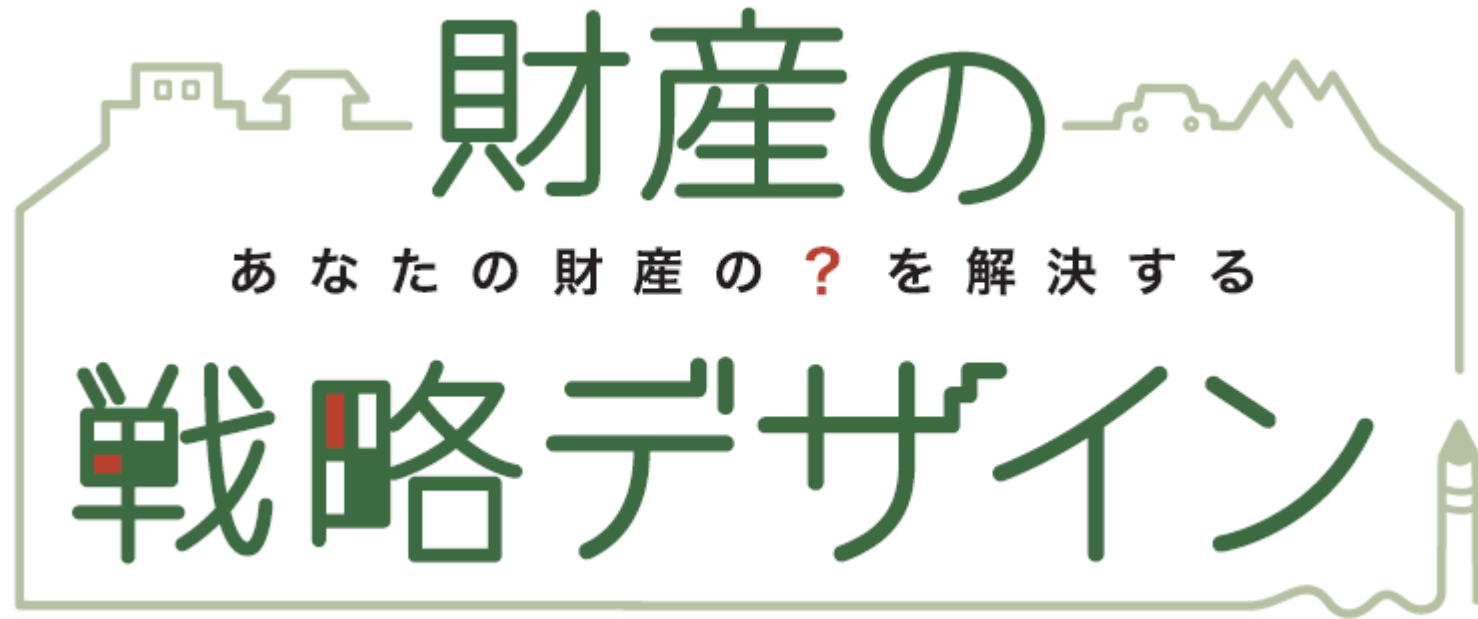
**様のお仕事

【10/28のミーティングで**様からうかがったことより】

- ・会社経営に関すること、営業、経理をご担当。
設計に関する領域を社員の方とどのような役割分担で進めるか

**様をサポートする社内体制

上記の課題のうち、解決したいとお考えの課題をお選びください



財産の

あなたの財産の？を解決する

戦略デザイン

課題解決のロードマップ



課題解決のロードマップ（サマリー）

短期の課題

項目

- **社長が、突然にお亡くなりになることがあったときの会社経営と財産の承継
- **社長から**様への事業承継

中・長期の課題

項目

- 取締役会を維持するか、取締役会を廃止するか？
- **様への事業承継
- **社長の退職金の準備
- **社長の株式の贈与
- 奥様の相続（2次相続）における遺産分割
- **様の会社経営
- **様が、突然にお亡くなりになることがあったときへの備え

詳細は、別紙、課題ごとにまとめたロードマップをご確認ください

別紙、『課題解決のロードマップ』をご覧ください

コンサルティングの後半でポイントになったこと

社長の退職金の準備

別紙、『退職金資産の準備』をご覧ください

ご参加の方々と、座談会

ご留意事項

- 本資料は、作成日現在の法律・税制等に基づくものです。
- 本資料にシミュレーションが含まれる場合、前提として記載している想定条件に基づくシミュレーションであり、実際の状況とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。
- 本資料は、情報を提供するために作成したものであり、その確実性・完全性に関して保証するものではありません。実際の個別具体的な税務に関する相談、法律に関する相談については、本資料を取得された方ご自身の責任で弁護士、会計士、税理士などの各専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。
- 本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。当社は本書のアップデートを行うことをお約束いたしません。
- 本資料に記載された商品・サービス等については、その実行・提供をお約束するものではありません。
- 本資料は当社の財産であり、要求があったときは当社に返還され、本資料を取得した方が作成した写しは破棄されるものとします。本資料を取得された方及び当社のいずれも上記に反する表明や誓約に依拠することはできません。

本資料作成日：令和7年2月27日

株式会社****様

社長の財産の戦略デザイン スケジュールシート

株式会社 継志舎

2025年1月24日作成

1. 契約の締結

社長の財産の戦略デザイン 業務委託契約

契約締結日：2024年10月28日（着手金11万円（税込）をお振込みいただきました）

2. ご提出いただいている資料

■41期決算書、B/SとP/L（40期、39期）、■会社定款、■履歴事項全部証明

■生命保険証券（法人契約 定期付終身保険）■金融資産ヒアリングシート

■生命保険 団体扱保険料証明書 ■有価証券取引残高証明書（野村証券等 個人・法人）

3. ミーティング

① 2024年11月28日（木）13時30分

ご提出いただいた資料をもとにして、弊社が推測した課題についてご説明しました。

推測した課題のなかから、課題の解決に向けてご意見をうかがい、解決する課題の特定と課題解決の方向性をディスカッションさせていただきました

② 2024年12月19日（木）14時00分から

特定した課題を解決する『課題解決のロードマップ(案)』をご説明いたしました。

この際にロードマップについてご要望をうかがい、ロードマップの調整点の確認にディスカッションを行いました。

ミーティング後、

退職金の準備に向けて、**様を被保険者とする生命保険の解約返戻金の予定を確認するため、解約返戻金推移表をご提示いただきました。

また、思いのヒアリングシートへのご記入もいただきました。

③ 2025年1月24日 13時30分から 【税理士の**先生も同席】

財産の戦略デザインの報告と課題解決のロードマップの実行にむけてお話しをさせていただきます。

**様退職金の準備にむけた今後の取組みについてもお話しさせていただきます

『社長の財産の戦略デザイン』はここで終了し、残額をお振込みいただきます

4. 課題解決のロードマップの実行

課題解決のロードマップ提示後、3か月間、実行を支援いたします（無料）。

以上

